

目 次

実行委員長挨拶.....	1
くしろエコ・フェア 2023 チラシ（表）.....	2
くしろエコ・フェア 2023 チラシ（裏）.....	3
《参加団体報告》	
環境省釧路湿原自然保護官事務所	
釧路湿原自然再生協議会 再生普及行動計画オフィス.....	4
釧路市役所環境保全課.....	7
釧路市動物園ツル担当.....	9
海ねこみなと会.....	11
釧路ガス株式会社.....	13
釧路野外教育研究会.....	15
市民フォーラム946.....	17
冒険の杜プロジェクト.....	19
バスから釧路の街を考える会.....	21
ボランティアナースの会「キャンナス釧路」.....	23
一般社団法人日本自動車連盟（JAF）.....	25
清水信彦さんを偲んで.....	27
くしろエコ・フェア クイズラリー.....	33
第6回エコポスターコンクール.....	35
来場者アンケート集計.....	40
新聞記事.....	42
協賛企業・団体広告.....	45
事務局業務の流れ.....	49
実行委員会規約.....	50
編集後記.....	51

「くしろエコ・フェア2023」

くしろエコ・フェア実行委員長 田丸典彦



2023年の「くしろエコ・フェア」が、皆様のご協力を得て無事開催できましたことに、心から感謝申し上げます。「くしろエコ・フェア」は自然と人にやさしい持続可能な地域社会とはどのようなものか、そのような課題を市民とともに考える場として2007年に発足しました。以後、自然環境と生活環境に関わる団体・個人・行政が、身の丈に合った日頃の活動を持ち寄り、発表し合う行事として継続してまいりました。

しかし、2020年と21年は新型コロナ感染拡大の影響から、開催を断念せざるをえませんでした。そこで、昨年はコロナ感染対策に配慮してパネル主体で開催しました。また、開催時期も、釧路地域の事情に合わせ、小中学校の夏休み明け以降としました。開催時期が国際環境月間の6月から離れることになりましたが、国連が環境問題に多くの目標を掲げているSDGsを標榜することとしました。

今年の会場は昨年と同様に釧路市中央図書館の多目的ホールと展示室です。今年も国連のSDGsの推進のため、副題として「SDGsの視点から」を掲げました。開催時期は諸般の事情から11月になりましたが、来場者の方々には展示内容について対面で説明し、また、体験コーナーも復活してこれまでのように賑やかに楽しく開催することができました。図書館会場は出展者同士の距離が近く、エコ・フェア開催目的の一つである、環境についての参加者同士の交流と相互理解が大変促進されました。なお、継続した取り組みとして今年も、次世代を担う子どもたちに環境に関わるポスターを募集しましたが、今回は多目的ホールに作品を展示した結果、多くの方々に見ていただくことができました。

ところで、コロナ禍は人の健康を侵すばかりでなく、人と人の結びつきを基本とする多くの市民活動に甚大な負の影響をもたらしています。これまで地道な活動に取り組んできた市民活動グループが縮小や担い手不足等のため運営停止等の危機的な状況に陥っています。エコ・フェアの参加団体も例外でなく、解散を余儀なくされた団体もあります。幸い、エコ・フェアは新たな参加団体が加わり現状が維持されています。しかし、このような社会的に困難な状況は当分続くと思われます。私たちは、めげずに活動が続けているたくさんの市民サークルとともに、地域に根差して身の丈に合った行事として継続する所存であります。

どうか宜しく願いいたします。

くしろ エコ・フェア 2023 ～SDGsの視点から～

地域に住む一人ひとりが『くらしと環境』について考え、思いを共有する場として、今年も「くしろエコ・フェア2023」を企画しました。さまざまな活動をしている団体に会える場でもあるので、興味のある活動を見つけたら、積極的にご縁を結んでください！

11月19日
10:00～15:00

くしろ市中央図書館
7F多目的ホール・展示室

～入場無料～

くしろエコフェア2023は、主に環境分野に関わるSDGs目標をテーマとしたイベントです。



～今回のテーマ～ SDGsとは

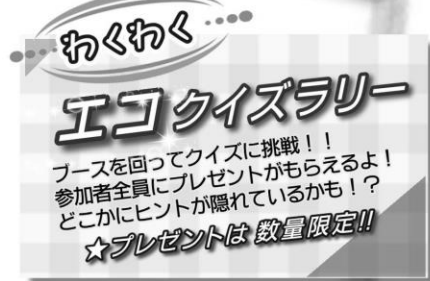
貧困、紛争、気候変動、感染症。人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らしかつ続ける事ができなくなると心配されています。そんな危機から、世界中のさまざまな立場の人が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。それが「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」です。持続可能とは、何かをし続けられる、ということです。SDGsは、私たちみんなが、ひとつしかないこの地球で暮らし続けられる「持続可能な世界」を実現するために進むべき道を示した、つまり、ナビのようなものです。(SDGsってなんだろう? SDGsクラブ 日本ユニセフ協会より)

- 4. 質の高い教育を みんなに
- 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 11. 住み続けられる まちづくりを
- 12. つくる責任 つかう責任
- 13. 気候変動に 具体的な対策を
- 14. 海の豊かさを守ろう
- 15. 陸の豊かさを守ろう

2014年 くしろ市こども遊学館

2017年 くしろ市生涯学習センター

2019年 イオンモールくしろ昭和



主催：くしろエコ・フェア実行委員会

共催：くしろ市教育委員会

事務局：くしろ市民活動センターわっと内（くしろ市末広町3丁目1番地）

TEL:0154-22-2232 FAX:0154-22-2234

✉ info@946wat.jp Web: <http://www.946wat.jp/KushiroEcofair.php>

コンクール受賞者発表
イベントのお知らせは
こちらから →



<http://www.946wat.jp/KushiroEcofair.php>



<https://www.facebook.com/946wat/>

～SDGs環境パネル出展ブース～



主に環境分野に関わる目標7、12、13、14、15のほか、それに関連したSDGs目標および環境問題に取り組んでいる団体の活動をパネルにて紹介いたします！



釧路湿原自然再生協議会 再生普及行動計画オフィス

&

環境省釧路湿原自然保護官事務所

湿原とともに暮らす未来のこどもたちのために
～釧路湿原を知る、学ぶ、楽しむ「こんな取り組みご存知ですか」～
○釧路湿原とつながる様々な取り組みを紹介します。
・釧路湿原自然再生事業紹介ポスター展
・釧路湿原自然再生事業現地見学会ポスター展
・湿原クラフト「湿原のなかまたち」展 他

釧路市役所環境保全課

2050年カーボンニュートラル達成をめざして
ゼロカーボンパークや一人ひとりができるゼロカーボンアクションに関する展示

市民フォーラム946

環境問題の本質を探し求めよう。原子力発電、有害物質と公害、二酸化炭素仮説

JAF(一般社団法人日本自動車連盟)

①ECOカード発行…環境にやさしい約束を自身で選択し、エコ活動への意識向上を図る
②誰でもできるエコ運転術(パネル展示)

冒険の杜プロジェクト

子どもたちに自然環境を提供することを主に活動してきたことの紹介
今後の活動についての説明

釧路市中央図書館 環境に関連する本コーナー

バスから釧路の街を考える会

路線バスの利用及び啓発活動の取り組み。会の概要、公共交通と環境の関わり、公共交通を使う事での高齢者の健康増進等

ボランティアナースの会 「キャンパス釧路」

地球規模のレベルで考えて地域レベルで行動しよう。

海ねこみなと会

海ねこみなと会の活動紹介
リースづくりワークショップ

釧路野外教育研究会

アイヌ民族の生活・文化にとって
重要な2,3の野生植物の解説パネル現物展示

釧路ガス株式会社

ガスマイホーム発電
家庭用燃料電池『エネファーム』パネル展示

釧路市動物園ツル担当

「タンチョウ・レスキューの現場から」
～釧路市動物園のタンチョウ保護への取り組み～

釧路工業高等専門学校

SDGs～環境パネル展示～

ご協賛企業・団体

拓北地下開発株式会社
学校法人ほっかいどう学院 くしろせんもんがっこう
株式会社リライアブル
ネイチャーテック釧路株式会社
学校法人緑ヶ岡学園 釧路短期大学
釧路信用組合
独立行政法人国立高等専門学校機構
釧路工業高等専門学校
沢田建設株式会社
大地みらい信用金庫
釧路地方中古自動車販売事業協同組合

岩倉建設株式会社
国立大学法人北海道教育大学釧路校後援会
釧路ガス株式会社
釧路信用金庫
富士塗研工業有限会社株式会社
釧路製作所株式会社
釧路厚生社
コープさっぽろ 釧路地区本部
一般社団法人 日本自動車連盟釧路支部
環境コンサルタント株式会社
株式会社田中組 道東支店

～ご協賛ありがとうございました～

順不同・敬称略

湿原とともに暮らす未来のこどもたちのために ～釧路湿原を知る、学ぶ、楽しむ「こんな取り組みご存知ですか」～

<出展者>

- 環境省釧路湿原自然保護官事務所
- 釧路湿原自然再生協議会再生普及行動計画オフィス（事務局：環境省釧路自然環境事務所）
- 辻野正（湿原クラフト作家）

【展示内容】

釧路湿原とつながる様々な取り組みや生き物を紹介

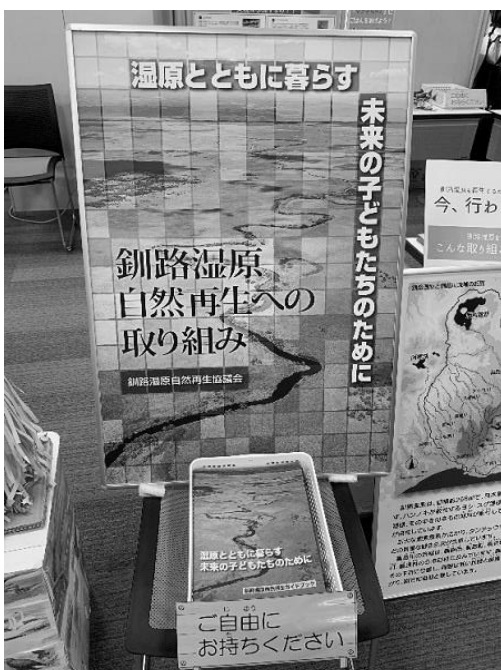
- ・釧路湿原自然再生事業紹介パネル
- ・釧路湿原自然再生事業地現地見学会ポスター
- ・湿原に暮らす生き物樹脂標本
- ・ワンダグリンダプロジェクト参加団体紹介ポスター
- ・湿原クラフト「湿原のなかまたち」



より多くの人に湿原の楽しさや魅力、価値を知っていただき、そこからまた新たな学びや参加・行動が生まれるよう、湿原に関わる多様な活動を情報発信いたしました。

これまで湿原にあまり関りを持っていない方々との新たなつながりや活動、協力が生まれていくことを目指します。

■釧路湿原自然再生事業紹介パネル



湿原の魅力、湿原からの恵み、湿原の保全の歴史、そして今起きている課題についてパネルで紹介しました。

また、現在取り組まれている対策など詳細については、無料配布のガイドブックをご覧いただきました。



■釧路湿原自然再生事業地現地見学会ポスター ～市民参加の機会づくり～

地域・市民のみなさんを対象に、楽しみながら再生事業についての理解を深めていただくことを目的として、再生事業地ごとに毎年開催している多様なイベントを紹介し参加を呼びかけました。



■湿原に暮らす生き物樹脂標本

アクリル樹脂に封入された植物や昆虫の標本を展示しました。実際に手に取って見て頂くこともできるので、みなさん「本物の大きさですか?」「この虫知ってる!」「これ釧路湿原にいるんですか?」と興味を持って、じっくりといろいろな角度から観察していただきました。



■ワンダグリンド・プロジェクト 参加団体活動紹介

ワンダグリンド・プロジェクトは、釧路湿原につながるのある様々な取り組みからなる地域と自然再生をつなぐ「釧路湿原の応援団」です。多種多様な活動を多くの方々に知ってもらい、釧路湿原とみなさんの距離が近づききっかけになればと願っています。



■湿原クラフト（湿原のなかまたち）

地球上のあらゆる生物は「種の保存」において様々です。ほ乳類を例にしても母親が子を産み育てる過程において多彩な戦略がありますね。

今年は、釧路湿原周辺に生息するほ乳類の子育てについて、「父親は参加するのか？」にスポットをあてて展示品を作成してみました。

私感により生きている様子を紙という人工物で種を表現して家族のように「なかまたち」と称して紹介しています。様々な参考資料を集めいろいろ工夫しています。今にも動き出しそうな様子をご堪能いただければ幸いです。



湿原クラフト作家:辻野正

■クイズラリー出題

（問題）お父さんが子育てに参加する動物のグループは次のうちどれでしょう？

①エゾタヌキとキタキツネ②ヒグマとエゾシカ③エゾリスとエゾモモンガ



エゾシカ、エゾタヌキ、キタキツネ、ヒグマ、エゾリス、エゾモモンガの子育ての様子。



鳥たちの子育ての様子。



くしろエコ・フェア2023への参加報告

釧路市役所環境保全課

展示内容

今年のエコ・フェアは、主に環境分野に関わるSDGs目標をテーマとしていたことから釧路市環境保全課では、13番「気候変動に具体的な対策を」に関わるパネル展示をおこないました。



展示したパネルは、一人ひとりが取り組むことのできる「ゼロカーボンアクション」のパネル1枚、「COOL CHOICE」の中から、LED照明への取替を推奨するパネル1枚、さらに、釧路市においては本年12月25日に宣言した「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動（愛称：デコ活）」を普及啓発するパネル2枚の合計4枚です。



そのほか、省資源につながる取組として、絵本カバーを使用したエコバックの作り方を紹介し、説明書と簡単に作れるキットを配布しました。

たくさんの方々にパネルをご覧いただき、エコバックづくりもたくさんの方に興味を持っていただきました！

環境に関する情報発信について

釧路市環境保全課では、令和3年8月よりInstagramを活用した環境に関する情報発信に取り組んでいます。このエコ・フェア参加報告の場を借りて、公式Instagramの概要についてご紹介したいと思います。



●釧路市環境保全課・環境事業課公式Instagramについて

投稿数：447件

フォロワー：846人（12月26日時点）

←釧路市動物園のシロクマ、ミルクのイラストを使用したアイコンが目印です！



@ECOCITY946

ご家庭で取り組める節電や省エネのことから身近なごみのことまで、環境に関する情報を幅広く発信しています。

気軽に情報に触れることができるので、ぜひ左の二次元コードからアカウントをのぞいてみてください！



デコ活
くらしの中のエコろがけ

●デコ活

（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）

環境省では、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた国民運動「デコ活」を展開しています。

釧路市では地域にデコ活を普及させ、脱炭素化をさらに進めるために、釧路町・釧路信用金庫と連携して令和5年12月25日付で一斉にデコ活宣言をしました。

くしろエコ・フェア参加団体の皆様におかれましても、デコ活の宣言と脱炭素の取り組みにご協力をお願いします。



「タンチョウ・レスキューの現場から」

釧路市動物園ツル担当

15 陸の豊かさも
守ろう



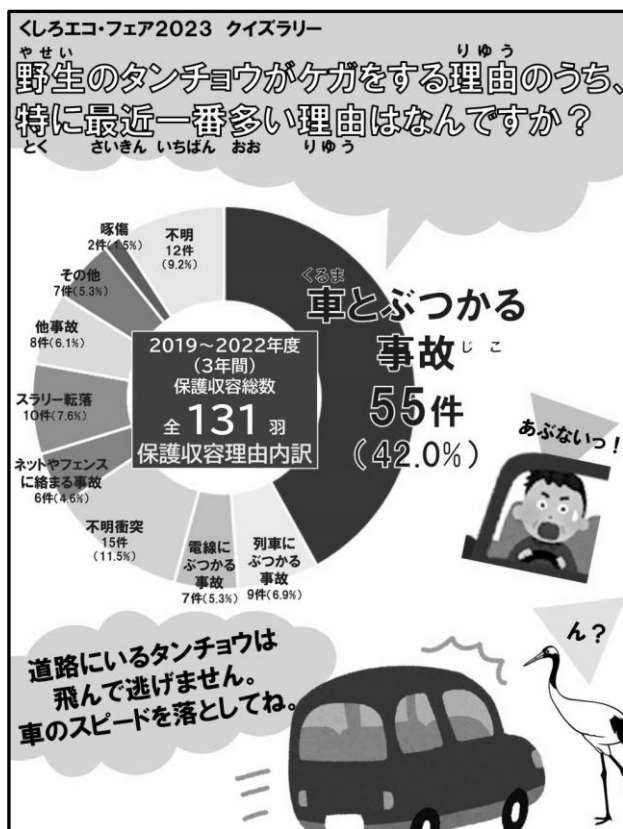
<2023年の展示の様子>



タンチョウ・レスキュー展（パネル展）
＊今年は21枚の全てのパネルを展示しました！



研究発表ボード「タンチョウの義足作ってみた。」（左）
2023年日本野生動物医学会大会発表ポスター（右2枚）
「北海道に生息するタンチョウの保護収容理由の変化」
「北海道に生息するタンチョウの交通事故を減らすために」



来場者に配布した
「タンチョウ横断注意道路標識ミニマグネット」
釧路市動物園のタンチョウ関連イベントに参加して
ゲットしてね！



釧路市動物園でのタンチョウの保護活動



レスキュー(治療)

保護されたタンチョウの
治療を行っています。



域外保全

大規模な飼育下繁殖群を
維持しています。

教育・普及

調査・研究

死因調査

死亡して発見された野生タンチョウの死因調査(病理解剖)を実施しています。



!!
タンチョウツイッターもやってます。
ぜひフォローしてね。



<https://twitter.com/CraneKushiroZoo>

まいにちタンチョウ・レスキュー
@釧路市動物園【公式】

普段は絶対に見られない、タンチョウの治療の様子や
義足で暮らすタンチョウ「モモ」たちの様子など、
タンチョウまみれのマニアックな毎日を
動画や写真で紹介しています。

NHK ラーニング
気づく、見つけるは、楽しい。

タンチョウの交通事故

NHK Eテレ

「ウチのどうぶつえん」
2023年10月放送(約10分)

釧路市動物園の
タンチョウレスキューの取り組み
を紹介しています。



いつでも!
どなたでも!
ご覧頂けます。

オンライン
配信中!



QRコードを読むと、
NHKラーニング
のサイトに移動します。



「2回目の参加」

海ねこみなと会

■SDGs番号■ 14・15

“異常気象”、“災害の増加”、気になってはいても何をしたら良いのか皆目見当もつかないけれど、「市民にも出来ることはあるのでは？」と2022年に立ち上げた「海ねこみなと会」がエコ・フェアに参加させていただき2回目となります。

今回のエコ・フェアでは、会で行っている内容を展示しながら、絹たわし作りワークショップを行いました。



エコ・フェアでは、クイズラリーを行いながら多くのブースに親しんでもらっていました。私達のブースの質問は「近年、微小なプラスチックが海洋に流出し問題となっていますが、おおむね5mm以下のその問題となっているプラスチックは何とよばれていますか？」

答えは「マイクロプラスチック」、半数以上の方は即答されているようでしたが、初耳だと思われるような方も3分の1くらいはいました。

この答えであるマイクロプラスチックの中には毎日の食器洗い(アクリル

たわしやスポンジ) から出てしまうものも含まれているため、会では天然素材たわしを使う事をすすめていて、当日はそのワークショップを行いました。作って下さった方々が、ご自宅で使ってください、ご家族やお知り合いの方に広めてくださると嬉しいです。

子ども達の中にも、海洋プラスチックが増え続けている事を危惧している子も沢山います。

市民の CO²排出は全体量の 15%にも達しています。

一人の力は些細かもしれませんが、しかし沢山集まれば大きな力になります。今後も行動のヒントを考え発信し続けていこうと考えています。

当会では海ねこフレンズ（気軽に取り組める情報を受け取る無料会員）募集中です。

海ねこみなと会

HP <https://uminekominato.crayonsite.info/>

Facebook ページ <https://www.facebook.com/uminekominato>

Instagram @uminekominato

お問い合わせ uminekominato@gmail.com



くしろエコ・フェア 2023

釧路ガス株式会社

SDGs 番号：未設定【環境問題側面の貢献で】

くしろエコ・フェア 2023 に参加させて頂きました。

釧路ガスでは 2022 年から取り組んでいる『釧路ガス昆布の森』構想の紹介、家庭用燃料電池『エネファーム』についての展示パネルとカタログ、お子さま向けのノベルティをご用意しました。

『釧路ガス昆布の森構想』に関しては、新しいプロジェクトとして、取り組み始めており、現在、西港第 4 埠頭に昆布をつけたブイを下ろし、生育の実証実験を行っております。

昆布は大気中の CO₂ を吸収する優れた海藻で、杉の木よりも「約 4.5 倍」の CO₂ 吸収効果があり、『ブルーカーボン』と言われ脱炭素に向けた取り組みの一つとして注目を浴びております。

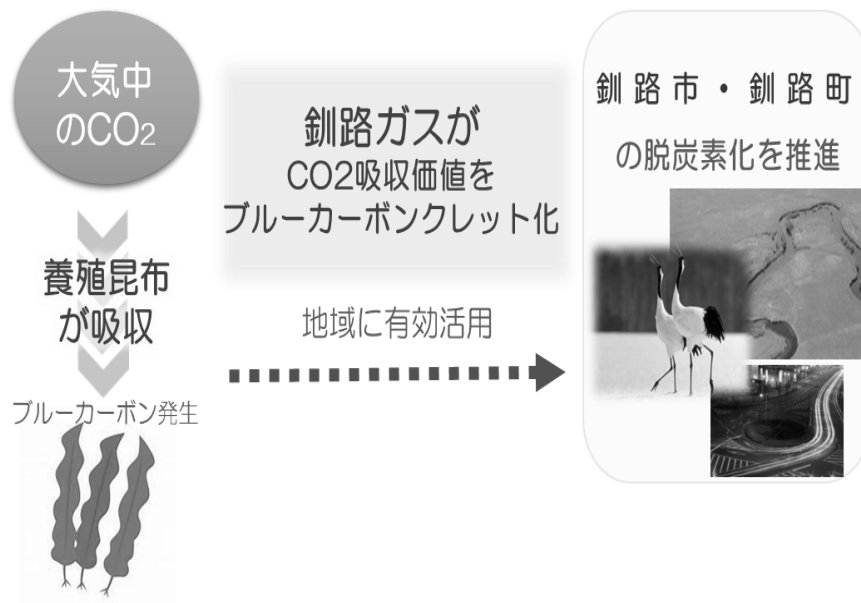


※昆布の様子はイメージ画像です

■釧路ガスが昆布を生育する狙いとは！？

以下のようなプロジェクト内容となっておりますので今回ご紹介致します。

(仮称) 釧路ガス昆布の森プロジェクト



2023年は釧路市西港で
“ブルーカーボンクレジット化”に向けた『実証試験』を実施

- ・ 昆布の育成確認(育成期間・生産量)
- ・ ブルーカーボンクレジット認証方法の確立



釧路ガスは『脱炭素社会』に向けて、
ブルーカーボン事業を中心に釧路地域の脱炭素化を
“地域の皆様”と進めて行きたいと思っております。
ぜひ、一緒に取り組みましょう！

イオルの植物

釧路野外教育研究会 田丸 典彦

アイヌのイオルを知っていますか。

釧路野外教育研究会は、これまで釧路地域の豊かな自然の恵み知ってもらい、自然と接していくことの楽しさ、素晴らしさを伝えるため、身近で豊富な山菜と、その山菜と紛らわしい毒草の現物展示を行ってきました。しかし、昨年から、コロナの影響で開催時期も秋となり、山菜採りの季節とは大きくかけ離れてしまいました。そこで、今回は、北海道の豊かな自然とともに生きてきたアイヌ民族の人々が大切にしてきた植物とその伝統的利用法を紹介しました。

さて、アイヌの人々は、どの山にも勝手に入り、無秩序に自然の生産物を取っていたわけではありません。アイヌの人々が生活に必要な様々なものを得ていた場所を「イオル」といいます。「イオル」とは、アイヌ民族が動物を獲ったり山菜を採る場所のことで、いわばアイヌ民族の生活の場のことです(貝澤美和子)。

アイヌ民族は、北海道の豊かな自然の中で狩猟採集と交易を営んで生活していましたが、昔のアイヌ社会では、一つのコタン(村)の周囲には一定の広さを持ったイオルと呼ばれる共有空間がありました。コタンの人々が狩猟や採集を行うのは自分たちのイオルで、他のコタンの領域を犯さないようにしていました。こうした生活の営みから、イオルと自然の関りについて計良智子さんは「他のコタンと重複しないように定められたイオルの中で生きてゆくためには一木一草も無駄にできないのが当然で、「自然を大切にするアイヌの知恵」というのは「自然の中で生かされている人間の自覚」が正しいのだろーうと思います」と書かれています。

今回、8種類の植物の現物とアイヌの人々の利用方法を紹介しました。

【釧路野外教育研究会について】

釧路野外教育研究会は、平成12年(2010)に野外教育の調査・研究及び会員相互の情報交換を推進し、野外教育の発展に寄与することを目的に発足しました。活動内容はキャンプ、カヌー、フィッシング、山菜採り等の自然で行われる様々な実践が含まれます。すなわち、いわゆる野遊び全般です。

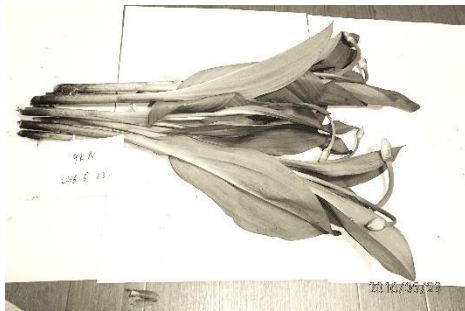




オオウバユリ

アイヌ民族にとってオオウバユリとギョウジャニンニクはハルイツケウ（食糧・背骨）と呼ばれ、特に大事な食物です。初夏に球根を採集して杵と臼でつき、水にさらして澱粉を抽出する。

花をつけたものを雄のウバユリ、花のないものを雌のウバユリといい、でんぷん採集は雌ウバユリだけを用い雄は採取しなかった。



ギョウジャニンニク

利用法は 1) 春先の生鮮野菜 2) 6月の開花ごろ大量採取して乾燥保存し年間使用 3) 薬用は万能薬、風邪、結核き湿布、産後の洗浄、傷の手当等、 4) 魔除けとして疫病が蔓延した時に入り口につるして病魔の侵入阻止。

アイヌ民族の生活・文化にとって大切な野生植物（現物展示）

和名	アイヌ語名	用途	採取時期	備考
オオウバユリ	トウレプ	食用（でん粉） 薬用（腹痛）	初夏	花のついた株は取らず
ヤブマメ	アハ、エハ	食用	早春、 晩秋	採集は地中果
クロユリ	アンラコル	食用		乾燥させ、携帯食
ギョウジャニンニク	プクサ キトビロ	食用、薬用、魔 除、厄除け	早春 開花期	万能食材烈臭
ニリンソウ	プクサキ ナ	食用、山菜名 はフクベラ	開花期	葉トリカブトに酷似
コウライテン ナンショウ	ラウラウ	食用 薬用（鎮痛）	晩秋 早春	有毒部除いて食す
トリカブト	スルク	狩猟用矢毒 根を採取	早春また は晩秋	全草猛毒
エゾイラクサ	モセ	繊維	降霜後	若芽は山菜、美味

知ること、考えること

市民フォーラム 946



今年は展示室の大きな壁面を使わせていただき、大量のパネルを張ることができました。ありがとうございました。

有害物・科学と疑似科学・原発・公害を扱っていますが、自分で書くよりも説得力を持たせるために、新聞記事を極力使うようにしています。ただ、最近は新聞も環境にかかわることというのは載せなくなってきていて、少し困っているところです。

昨年の報告集では、PFOS(ピーフォス)・PFOA(ピーフォア)が、ネットニュースには出ているのに、と書いたのですが、調べるとテレビのニュースでも報じられていたようです。一過性のテレビではなかなか捕捉しきれない部分があります。重大なこととして各局で繰り返し報道するくらいにはなっていないので、テレビ的には。

新たな公害 PFAS～PFOS・PFOA・PFHxS

PFAS は Per- and Polyfluoroalkyl Substances ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物。有機フッ素化合物の総称。1万種類ほどあるという。分解されにくく、「フォーエバーケミカル＝永遠の化学物質」とも呼ばれる。

その中でも人体に有害と考えられるものが、PFOS～ペルフルオロオクタンスルホン酸と、PFOA～ペルフルオロオクタンスルホン酸。23年11月28日のNHK報道によればPFHxSという物質も日本で製造・輸入が閣議決定で禁止された。

フッ素樹脂～テフロン加工のフライパン・撥水材・ハンバーガーの包み紙に使われたり、泡消火剤として軍用空港に使われたりした。

NHK 報道でははじめは米軍基地周辺についてのみだったが、日本全国に広がりを見せていること、水道水にまで入っていたことも報じた。ただしダイキンの名前は出てこない。TBS も摂津市の取材映像は流されたがダイキンは出てこない。まあ、村度文化が行き届いている。

腎臓がん・脂質異常症・抗体反応の低下・乳幼児の発達異常などが懸念されている。

水道水に混入が確認された自治体の中には、学校に浄水器を取り付けたところもあった。



COP28 で原発の発電量を 3 倍に

COP28 (国連気候変動枠組み条約第 28 回締約国会議) において、アメリカ合衆国政府がリードして、2050 年までに原発による発電容量を世界で 3 倍にするという宣言を発表し、日本を含む 21 カ国が賛同を示した。

原発の破滅性は周知のことであるのに、危険な方向へ世界が進むようです。核兵器拡散の危険性もあるというのに。

日本では「60 年」まで原発を使うように決めている。それまでは 40 年だったはずなのに。60 年もたった古い機械がまともに動くのか、あること自体が危険なのに、安全がどうして言えるのか、まったく意味不明。

温暖化 CO2 原因説はやはり原発推進のためであったのか、と思わせられる。



自然を壊す自然エネルギー

釧路市指定の天然記念物・キタサンショウウオが生息するところに、次々と太陽光発電設備が作られている。釧路市には設置を差し止める法的根拠がなく、条例・ガイドライン策定に向けて釧路市も動き出したようだ。

太陽光発電は人のいない山林の木を切り倒して、がけ崩れや、入出土砂で漁業被害をもたらす。日本では100か所ほど、そうした心配から住民と企業の間で問題がおきているという。

風力発電も、低周波・バードストライク・雷による火災・強風による倒壊など、多くの危険を持っている。洋上風力の場合、漁業への被害は未知数。

「自然」エネルギーという言葉に騙されてしまうが、作る時のエネルギー量と、設備の寿命までに作られるエネルギーの比率はどうなっているのか、廃棄の時のエネルギー（金額）・方法はどうなっているのか、まったく秘密のまま。「環境」に着目するなら、廃棄の手順について、まず最初に、詳しく語られるべきなのだ。それが無いということは、環境のことなど何も考えていない、ということを示している。「自然」エネルギーは石油のエネルギーを大量に使わせるための方便なのではないか。



世界に広がる水俣病

金や銀の精錬では最も簡単な方法として水銀アマルガム法がある。水銀は、ほかの金属に触れると、その金属を自分の中に溶かし込んで合金となる性質がある。砕いた金鉱石を水銀に入れると、岩石が浮いて金と水銀の合金ができる。これを加熱すると、水銀が蒸発して最後に金が残る。蒸気を吸い込むと水銀は猛毒で、神経を犯し、しびれ・運動障害・腎臓や肝臓の障害をもたらす。河川に流れ、微生物のはたらきでメチル水銀（日本の水俣病の原因物質）となり、食物連鎖を通して生物濃縮を経て人体に入る。

南米やアフリカの金鉱山・銀鉱山では、この水銀アマルガム法が行われており、水俣病の発生が危惧されている。日本での悲劇がなにも活かされず、悲劇の拡大再生産が起きるのは明白だ。SDGs目標の1番目「貧困をなくそう」が達成されなければ、こうした危険な労働もなくせない。



ジャーナリズムの喪失

「政府が右ということをして左というわけにはいかない」NHKと、企業には逆らえない民放。ネットに押されてテレビも新聞も下火。拡散はできても取材力のないネット。ジャーナリストの生きていける場所がなくなっている。私たちは何も知らされることなく、力の強いものたちに身の回りの環境、食べ物を通して体の中の環境を悪くさせられていく。足尾銅毒事件から今まで繰り返されてきた環境破壊の連鎖を、止める手立てはないのだろうか。

市民フォーラム 946 文責 鈴木

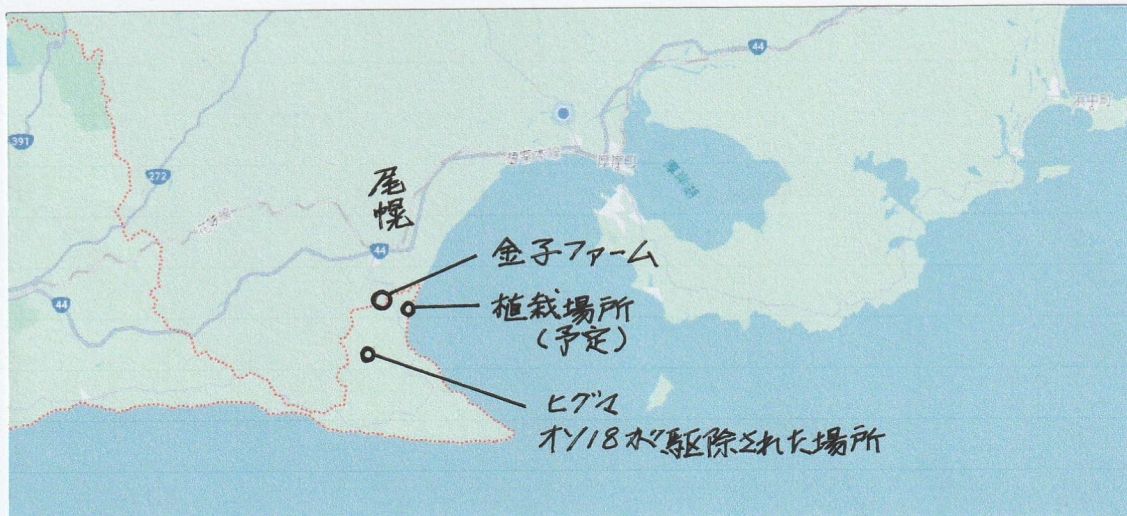


冒険の杜プロジェクト

2018エコ・フェア(6月30日)にパネルを展示し、子ども達に自然体験を提供します、親子に自然体験を提供します、大人やお年寄りにゆっくりとのんびりした空間を提供します、ということを目指して活動してきましたが、新型コロナウイルスの影響により活動の停止をせざるを得ませんでした。新型コロナウイルスも少しずつ治まり、今後は自然体験活動事業を再開します。冒険の杜プロジェクトの活動拠点は、厚岸町の尾幌と釧路町の仙鳳趾にまたがる金子ファームで、このファームは、椎茸の菌床栽培を主に、行者ニンニクの栽培研究、馬、ヤギ、羊、を飼っています。もちろん、普通に飼い犬、飼い猫もいます。

2022エコ・フェア(10月1日)の報告集で、植栽予定と海が見える場所にブランコを造る予定と書きましたが、直ぐ近くで熊オソ18が駆除されました。他の熊もいるようで、ブランコをつくる予定の場所近くで熊の糞も確認されているため、このことは断念しました。金子ファームの近辺で造ることを検討中です。今後は、近くに有る危険を意識しながら、熊の行動に関する専門家の意見を聞くなどして活動していくことになると思われます。自然の中に有る危険を学習することは、次の世代にとっても大切なことになるでしょう。





冒険の仕方を、みんなが楽しむことが
 この土地を、プロジェクトの一員の金子さんは
 出づから、みんが、思いやり、人達の方
 今後の使用に、い集まう、た、ね、付
 け次第という、ことになり、ます、



会発足から 13 年間の活動概要を展示。(案内ハガキと写真)

バスから釧路の街を考える会

■SDGs番号■ 3・7・11

「くしろエコフェア」への参加は、本年が初めての参加になります。私たち「バスから釧路の街を考える会」の活動目標の一つに『市民の足になっている環境に優しい「路線バス」を応援しよう』ということがあっての参加となりました。

そこで、会発足から13年余の主な活動を紹介し、課題となっているSDGS 3番「すべての人々に健康と福祉を」と7番「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」と11番「住み続けられるまちづくりを」の3点について考えてみようということで取り組みました。

本来バスサービスは、地域で暮らし続ける人々にとって地域内の移動をもっと便利にできるはずで、バスは工夫次第で、街の中に人間らしい生き生きとした生活をいつまでも続けられる環境を創り、生活の幅、おいしい空気を生み出すことすらできます。

一方で、私たちが住んでいます現在の釧路は、人口の減少や車の依存度の高さにより路線バス利用者の減少が進み、路線の見直しや減便などで利便性の低下が避けられず、市民のバス離れは深刻で、街や地域の活性化にブレーキをかける状況になっています。

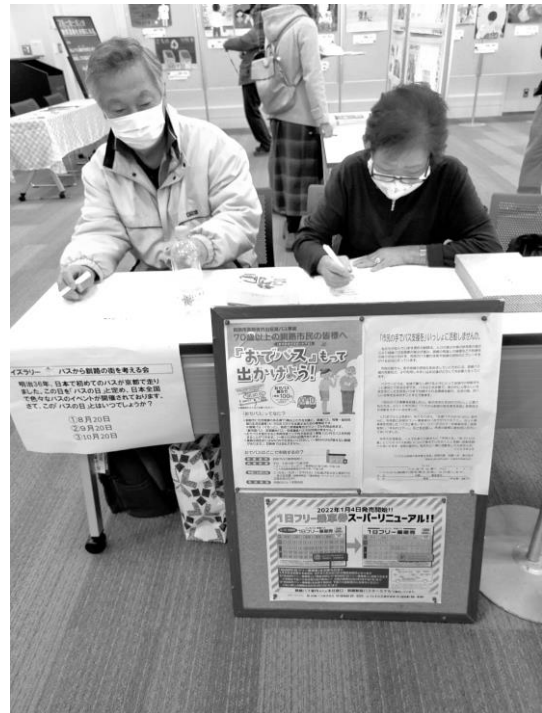


街や地域の活性化をめざしていくためには、路線バス網の充実など、より利用しやすい公共交通がどうしても必要となっています。

これまでの13年余り、私たちの会は、「全国バスの日(9/20)」を中心に、グリーン定期・シルバー定期所持者、一般市民にはお得

なフリー乗車券や「おでかけパス70」、セット乗車券、を活用した「バスに乗ろーデー（パークゴルフ・お食事交流・地域散策）」「年忘れツアー」、などを企画し、管内21【霧多布温泉ゆうゆ、昆布森港祭り、グリーンパークつるい、鶴居温泉TAITO、丹頂の里赤いベレー、山花温泉リフレ、動物園、釧路空港、別保公園、遠矢パーク場、緑ヶ岡公園、鳥取神社祭り、新野、三映団地、米町周辺散策、日本製紙工場・北海道新聞印刷工場、白糖町、音別、益浦夏まつり、千代の浦マリnpark、市立図書館、博物館】を超える地域、施設に路線バスに乗り足を運んでいます。他に、行き帰り路線バス利用の「新年交流」、消費者まつりの参加等々、

一人でも多くの皆さんに「市民の足」「街づくりの要」としての『バス利用』について考えていただくことを願い活動を続けています。



しかし、私たちの願いとは裏腹に、止まらない人口減少、コロナ感染、運転手不足もあってなのか、毎年行われる時刻改正の度、減便が行われ、今では「利用しやすい公共交通の確立」にはほど遠く、地域によっては、公共交通が損なわれ自家用車に頼らなくては生活が出来ない状況も増えてきています。

私たち「バスから釧路の街を考える会」は、『バス』はもっと利用者にとって便利と受け止められるレベルのサービスを提供できる。もっと、社会のインフラ（基盤）として有益と認められ得るレベルの効果をもたらすことができる。】はずであり、様々な利用者の立場から、今のバスサービスの検証をしながら、少しでも便利で快適なバスサービスを受けられるよう、引き続き、行政やバス事業者、地域・市民団体で構成している「釧路市地域公共交通活性化協議会」に働きかけ、話し合いをしていきます。

また、利用しづらくなってきている「路線バス網」であっても、工夫を凝らし、日々時刻表を持ちながら、出来る限り「路線バス」を自分の生活に汲み入れ「街の活性化」「健康増進」に繋げていけるように、これまでの活動を続けていきます。

「地球規模のレベルで考えて地域レベルで行動しよう」

キャンナス釧路 SDGs 番号 3「すべての人に健康と福祉を」

11「住み続けられるまちづくりを」

浜中町の酪農地域における家族構成は、2世代家族が41.7%、3世代家族が35.3%と、核家族よりも多世代の拡大家族が多い現状の中、広大な原野に点在する形で住宅があるため、車の運転ができない高齢者は、家族の協力、もしくは近隣で運転のできる知人の協力なくしては思うように外出できる環境にありません。また通院等の同行も、家族にとって酪農作業の繁忙期には負担となり、また高齢者もそのことを気遣い、家に閉じこもることが多くなってしまふ、そんな現状がありました。農協女性部からは10年来、そうした家族内での介護負担、問題点が指摘され、介護問題解決策の一つとして、介護する家族の支援を主な活動の主旨としている「キャンナス釧路」が、浜中町農協の委託を受け、酪農地域における高齢者に対する外出支援活動「JA はまなかデイサロン」を2006年10月に開設しました。「JA はまなかデイサロン」とは介護保険外での活動であり、介護の必要のない元気なお年寄りの方たちが気軽に利用しやすいように、「デイスサービス」ではなく「サロン」と名付けて参加を声かけし始めたのがきっかけです。

デイサロンは週に一度、農協の空部屋を利用して開かれ、朝、送迎バスにて酪農地域の各牧場に居住する高齢者の方をお迎えに行き、サロンまでお連れします。サロンでは看護師が血圧測定や健康相談を行い、個々で自由にお買い物や美容室、診療所の受診、郵便局、役場などでの用足しをしたり、おしゃべりや体操、ゲームをしたりと、思い思いの自由な時間を過ごして頂き、夕刻、各ご自宅まで送迎する、というのが一日の流れです。高齢者が1日一人で外出できることは、同居家族にとっても助かります。

デイサロンは農協がキャンナスに委託して行っている介護保険外での活動であるとはいえ、すべての運営費を農協が負担しているわけではありません。まず利用者様は送迎と昼食付で1回1,500円（現在はコロナ禍のため午前中のみ開催・1回500円）の利用料を負担しています。農協は、キャンナス釧路への委託料と、サロンにかかる備品や昼食代、送迎バスの燃料代等を負担しています。デイサロンのスタッフは、地域住民のボランティアです。送迎バスの運転は、地域の運送会社が、企業の社会貢献の一つとして、無償で請け負ってくれています。昼食（コロナ禍以前）は農協の惣菜店舗が、お年寄り向けの食べやすい昼食メニューを、通常の業務の合間をぬって毎回工夫して提供して下さっています。

このように、デイサロン運営は、関わっているひとりひとりが、自分にできることをできる範囲で少しずつ負担していくことで支えられている、まさに多職種連携による活動です。

デイサロンの開始によって、以前に比べ心身ともに元気になったお年寄りが増えたこと、ご家族にとっても息抜きの時間が確保されたこと、それら双方が意識の面で良い効果が表れてきたことなどが、2009年に浜中町農協が行った「第7次浜中町農協中長期計画策定に関するアンケート調査結果報告書」において、概ね良い評価を得てきていることがわかります。加えて竹内による浜中町の高齢者の健康長寿に関する基礎調査においても、ご家族と同居されている方のデイサロン活動参加者は多く、高齢者、家族、ともに活動に対する相乗効果があるものと考えます。

地域の高齢者が健康であることは、同居する家族の介護負担軽減となり、酪農経営が安定して行われる、そのことが酪農を生業とする地域全体において一番の活性化につながっていく、という好循環をもたらすものと考えます。これまでこの町の酪農を支えてきて下さった高齢者の方たちを、地域で支えていくことは、私たち若い世代の務めでもあると思います。浜中町農協とキャンパス釧路、さらに多くの地域住民たちが協力、連携し、支え合っているこの活動が、地域の高齢者の疾病予防と、健康増進のための一助となれることを、私は今後も目指しています。



くしろエコ・フェア 2023 への参加報告

一般社団法人日本自動車連盟（JAF）釧路支部

SDGs：13（気候変動に具体的な対策を）

JAF では、エコドライブの促進をしています。「エコドライブ」とは、CO₂の排出を抑え、地球環境に配慮した運転方法です。

今回は、「今すぐ始めることのできるエコドライブ」についてご紹介しました。ガソリン価格が高騰している昨今、ニーズは高いと考えられます。



（画像 1）エコドライブ 10 のすすめ

出展内容としてはこのほか、「JAF エコ・カード」を実施しました。これはパソコンを使ったシステムで、名前と生年月日、そしてエコ宣言をいくつかの選択肢から選ぶことで名刺大のカード（画像 2）を発行するものです。

発行数は 10 枚に止まりましたが、主に子連れのお客様にはお喜びいただけたものと思います。

不思議なことに、どなたも「ゲーム時間を短くする」だけは決して選ばなかったことから、ゲームの優先順位は高いと感じました。

また、作成された方には「エコドライブ中」ステッカー（画像 3）を贈呈しました。



（画像 2）JAF エコ・カード



（画像 3）「エコドライブ中」ステッカー

また JAF 釧路支部では、地域的な取組みとして「エゾシカ衝突事故防止」に注力しており、スピードダウンの呼びかけとともに、自動車走行時のエゾシカへの注意点をまとめたパネルを展示しました。（画像 3）

適切なスピードダウンはエコドライブにもつながるため、効果的と考えます。



（画像 4）エゾシカ衝突事故防止のために、スピードダウンを呼びかけ



（画像 5）ブースの様子

今後も少しでも SDGs 拡大の一助になるべく、努力してまいります。

～清水信彦さんを偲んで～

くしろエコ・フェア2023実行委員長 田丸 典彦

昨年6月11日、エコ・フェアの活動を長年支えていたでいた清水信彦さんが享年78歳で逝去されました。清水さんは釧路シャケの会のメンバーとして2007年のエコ・フェアの創設に尽力され、その後エコ・フェアの運営にも、携わっていただくとともに、2008年からは「くしろの魅力を創る会」としてフィールドワークに積極的に取り組みました。イルカウォッチング、釧路川での潮干狩り、そして2012年からは人気のツアー、ジオスポット砂岩脈「釧路春採太郎を見る会」を主催して、自ら波打ち際を案内されました。



本当にかげがえのない大切な方を失い胸が詰まる思いで一杯です。

清水さんに初めてお会いしたのは多分1984年の水俣30の全国的キャンペーンの取り組みを釧路でも開催した時だと思います。以後、色々な場面でお会いする機会がありました。しかし、清水さんの社会運動家としての活動歴について知る機会はありませんでしたが、3年前にエコ・フェアの年忘れご苦労さん会



で、学生時代の全共闘運動や4.28沖縄闘争などに加わられた話を伺いました。故郷の釧路に戻られてからも水俣病の患者さん達の会（現在のきばる）が作られた甘夏ミカンの販売支援を続けられ、また有機栽培のJAS認証委員もされていたと思います。広い活動領域で活躍されていることが分かりましたが、エコ・フェアが遊学館で開催していた時は、いつも昼休みに控室の荷物番を引き受けていただきました。きっと様々な市民活動でも、縁の下の力持ちを自ら担っておられたことと思います。

今時78歳は未だ若く、まだまだやりたいことがたくさんあったと思います。天寿を全うしたとは言えないかもしれません。しかし、清水さんは、人の倍以上の濃密な人生を生き抜いて来られたと思います。見事な人生だったと言えるでしょう。学生時代に望まれた社会正義が実現するにはまだまだ程遠い私たちの社会ですが、故郷に戻り清水さんが灯した市民活動の様々な火種は、形は変わっても間違いなく受け継がれています。清水さんが手がけた灯の一つを、私達も受け継いでいるわけで、絶やさぬよう心掛けねばならないと思います。

清水さんを偲ぶ

あの痩身のどこにエネルギーが隠されていたのか、「シャケの会」と「釧路の魅力を創る会」の二つの市民活動を率いて、エコ・フェアにも二団体の展示を発表してくださいました。初めてお会いした時からずうっと同じ風貌で、お年のことも気にしたことさえありませんでした。私は腰も膝もダメダメで鈍重な体を持て余して、パネルの運搬でも手を出せないでいるのですが、清水さんは軽やかな痩身で動き回っていました。



「シャケの会」「釧路の魅力を創る会」の二つがなくなるのは寂しいものです。お仲間もいるかと思うのですが、清水さんのように運営するのが難しいのでしょうか。存続できないのは清水さんのはたらきがあまりにも大きかったからなのだと思います。

ご冥福をお祈りします。



「シャケを育てる会」の会長でいらした清水さんが、こんなにも早く旅立たれるとは思っていませんでした。

毎年、お腹に赤い栄養をかかえて可愛らしく泳ぐ稚魚たち。

今年も見られる予定でした。でも、いつもの場所には一匹もいないのです。

同じように淋しい想いをしている方は、きっと多い事でしょう。今まで放した稚魚が大きくたくましく育って、釧路川に帰ってきますね。

無事に帰って来てくれるように、どうか見守って下さいね。

たまごから稚魚へと、命の成長に関わる事ができて感謝しています。

ありがとうございました。

今はゆっくりとお休み下さい。



くしろエコ・フェア 2023 監事 金橋 康裕

いつのエコ・フェア事務局会議の時か忘れましたが、「私の誕生日は、6月5日の世界環境デーです」と清水さんに話しました。そうすると、清水さんも「僕も同じ6月5日生まれだよ」と答えが返ってきました。同じ誕生日の人が、環境事業のくしろエコ・フェアのお手伝いをしているのは、なんともおもしろいものだと思います。

清水さんからの声かけで「金橋さんシャケ卵の里親にならないかい」との話があり、最初は40～50卵預かり、孵化させた稚魚を釧路川に放流しました。その後、100卵以上になり、卵のザル1つ(1000卵以上)になり、その頃には、外の風呂の浴槽だったものの中を稚魚が泳ぐこととなりました、そして、残念ながら釧路シャケの会は解散することになりました。しかし、今後は、その活動が何かの形で復活することを願っています。



清水さんの淡々とした行動に、敬意を表します。環境についても地道にコツコツと積み重ねることが本当に大切なことを教えてもらいました。あなたと私が生存しなければ社会が成り立たないのは当然なことですが、本質的に何が人間として生活するために大切なことか、このくしろエコ・フェアは原点を教えてくれるものだと思います。

清水さんとのお付き合いの中で学んだものは、継続することの大切さと年齢に関係なく行動することの大切さです。

私が生きている限り、自分の中で清水さんが生きているわけですから、コツコツと行動せざるを得ません。

追悼と共に引き継いでいくことを……。



くしろエコ・フェア 2023 事務局 佐藤 陽介

清水さんとは、私がわっとうに入った2014年から約9年間、仕事とプライベート両方でお世話になりました。思い出されるのは、私が元々パソコンが得意という事で、操作に困った時に相談されたり、プライベートでも自宅のパソコンを診てあげた事もあり、その後娘さん夫婦が経営するカフェひだまりで一緒にお茶をし、清水さんがエコ・フェアとして参加されていた「釧路の魅力を創る会」や「釧路シャケの会」その他、生涯で様々な活動をしてきた話等を聞かせていただいたことです。



色々と学ばせていただいたことに感謝しています。

市民活動に関しても大変精力的に活動されていて、まだまだ元気な姿を見られると思っていたさなかに訃報を聞いて、本当に残念でなりません。

清水さんが積み重ねてきたものにはまだまだ及びませんが、これからも引き続き頑張っていきたいと思いますので、どうか安心してお休みください。

本当に色々ありがとうございました。

ご冥福を心よりお祈りいたします。



くしろエコ・フェア 2023 事務局 上野 岳

逝去された清水さんとはご存命中にお会いする事は叶いませんでしたが、現在勤務するNPO法人くしろ・わっととしては立上げ時の初代理事長、そしてエコ・フェア事務局としては事務局の仕事に加え「シャケの会」、「釧路の魅力を創る会」の2団体をまとめていた方として多くの記録や様々な方のお話で伺わせていただいております。

清水さんの遺してくださった変わることのない大切なものを忘れずに受け継ぎながら、時代の変化を捉えつつ今後ともエコ・フェア業務に邁進出来ればと思っています。

今まで大変お疲れ様でした。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。



ありがとうございました！ゆっくり休んでくださいね。

多くの放流された稚魚たちとかつて放流した子どもたちに代わって……

釧路の自然を大切に思い、環境を考える市民活動に参加されていた 一コマ。

「くしろ エコ・フェアにて」



2018 年 08 月 イオンモール



2019 年 06 月 イオンモール



2022 年 10 月 図書館

「釧路シャケの会にて」



2022 年 01 月 シャケ里親説明会



2022 年 05 月 釧路川 シャケ放流式

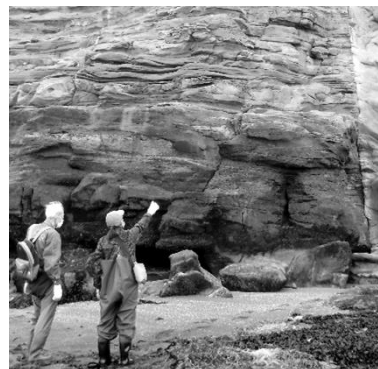
「釧路の魅力を創る会にて (春採太郎)」



2019 年 06 月 見学会



2021 年 08 月 見学会



2022 年 07 月 見学会

清水さんの存りし日のお姿を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。



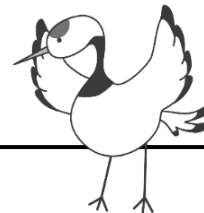
くしろエコ・フェア クイズラリー



くしろエコ・フェア 2023 では、昨年に続いて参加型の企画「クイズラリー」を実施しました。

各展示団体さんの掲示物・展示内容からクイズを出していただき、参加していただくと粗品をプレゼントという形で行いました。

クイズラリー問題一覧（答えは一番最後にあります！）



◆環境省釧路湿原自然保護官事務所

釧路湿原自然再生協議会 再生普及行動計画オフィス

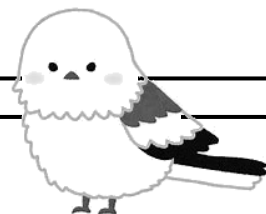
Q 1. お父さんが子育てに参加する動物のグループは次のうちどれでしょう??

- ①エゾタヌキとキタキツネ ②ヒグマとエゾシカ ③エゾリスとエゾモモンガ

◆釧路野外教育研究会

Q 2. ギョウジャニンニクの花はいつ頃咲きますか？

- （ a：4月 b：5月 c：6月）



◆冒険の杜プロジェクト

Q 3. 陸上には何種類の植物がありますか？

- ①150万種 ②27万7千種 ③22万種

◆市民フォーラム946

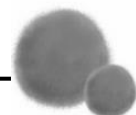
Q 4. 2009年、イギリスのイースト・アングリア大気候研究所のサーバーからメールなどを盗んで暴露し、温暖化の原因がCO₂ だとするデータの歪曲、改ざんが明らかになった事件を何と言いますか？

- ①高輪ゲートウェイ ②ウオーターゲート ③クライメートゲート

◆海ねこみなと会

Q 5. 近年、微小なプラスチックが海洋に流出し問題となっていますがおおむね5mm以下のその問題となっているプラスチックは何とよばれていますか？

- ①エキゾチック ②マイクロプラスチック ③マイクロチップ



◆釧路ガス株式会社

Q 6. エネファームは空気中の【酸素】と何を反応させて電気をつくる？

- ①窒素 ②水素 ③ヘリウム

◆ボランティアナースの会「キャンナス釧路」

Q 7. 浜中町にある「コープはまなか」の公式キャラクターはどれでしょうか？

- ①うしばしくん ②いしばしくん ③ヨンゼロくん



◆バスから釧路の街を考える会

Q 8. 明治 36 年、日本で初めてのバスが京都で走りました。この日を「バスの日」と定め、日本全国で色々なバスのイベントが開催されております。さて、この「バスの日」とはいつでしょうか？

- ①8月20日 ②9月20日 ③10月20日

◆J A F (一般社団法人日本自動車連盟)

Q 9. ガソリン車で最も燃料消費が多くなるのは、次のうちいつでしょうか。

- ①発進時 ②走行時 ③停止時

◆釧路市動物園ツル担当

Q 10. 野生のタンチョウがケガをする理由のうち、特に最近一番多い理由は何ですか？

- ①電線にぶつかる事故 ②車とぶつかる事故 ③ネットやフェンスに絡まる事故

「クイズラリーを終えて」



今年は、昨年に続き釧路市中央図書館7F多目的ホールと展示室でイベント開催中にクイズラリーを実施しましたが、小中学生の参加者が多いことから、回答しやすい様に全問3択問題に揃えたことで、正解者が多く皆様喜ばれていました。

来年も実施する際は、ぜひよろしくお願いいたします。



クイズラリーの

解答はこちら→

※逆さまにしてご覧下さい

／ 解重を4C57車② ~010／ 知取巻① ~60
／ 日02目6② ~80／ 7>7.17<① ~20
／ 筆水② ~90／ 46.4<5<6047<② ~90
／ 1-44-4メ7<4⑥~40／ 5軒士2.522② ~80
／ 目9:0 ~20／ 46.4キ7キ7<46.4① ~10

第6回エコポスターコンクール

今年のテーマは「SDGs」～自分にできること～

募集要項

ポスター・・・四つ切画用紙使用 一人1点まで
画材、画用紙の縦・横使用は自由

応募方法

ポスター・・・「エコポスター応募用紙」を作品の裏に添付
学校または直接「釧路市民活動センターわっと」へ提出

応募期間 8月20日～9月23日

応募資格 小学生 中学生 高校生 一般

審査 10月2日 田丸実行委員長および
事務局員により厳正に審査

発表 10月14日 釧路市民活動センターわっとのホームページ に掲載



受賞作品

エコポスター

応募総数：14作品

【金 賞】

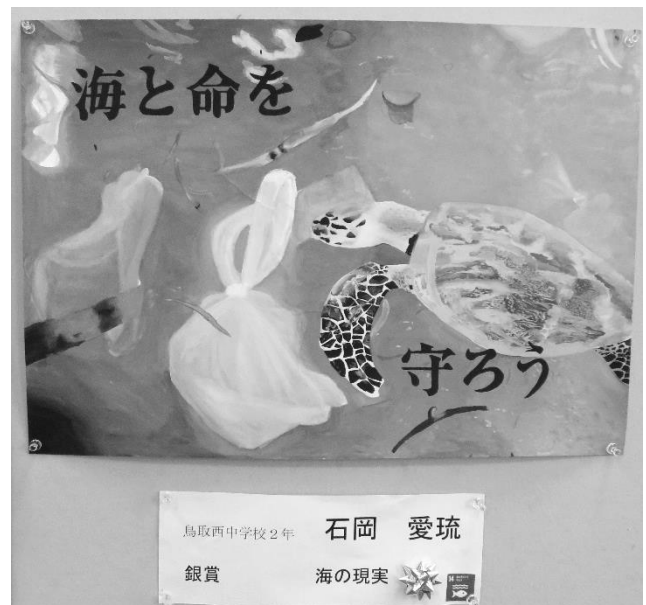
【たいせつなうみをまもろう】
愛国小学校1年 萱野 怜



【銀 賞】



【海を大切に】
鳥取中学校2年 西垣内 麻央



【海の現実】
鳥取西中学校2年 石岡 愛琉

【銅 賞】



【消して照らそう 地球の未来】
愛国小学校 6年 高橋 結愛



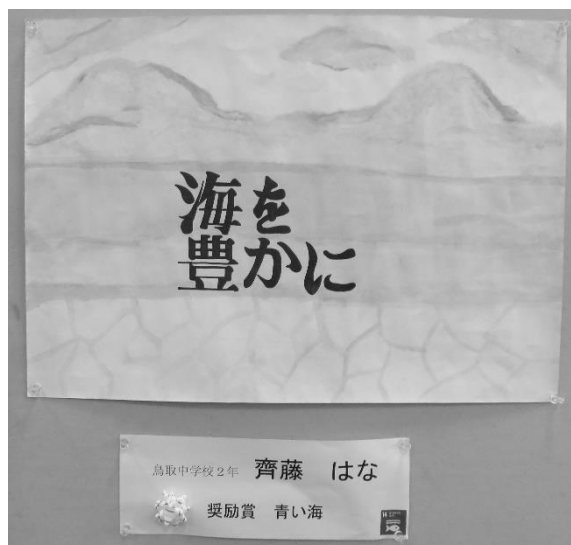
【こん虫 大すき!】
鶴野小学校 2年 島崎 斗碧



【節電でSTOP地球温暖化】
鳥取西中学校 2年 加藤 彩乃



【奨 励 賞】



【青い海】

鳥取中学校2年 齊藤 はな



【森を大事に】

鳥取中学校2年 佐藤 春乃

【佳 作】



【まちをきれいにしよう】

青葉小学校4年 魚住 心花



【パズル】

鳥取中学校1年 藤巻 怜菜



【SDG2 7】

鳥取西中学校1年 森川 由貴



【必要な分だけ作り、ゴミはリサイクル】

愛国小学校6年 黒滝 琴音



【食べ物を大事にしよう】

鳥取西中学校1年 種田 羽華



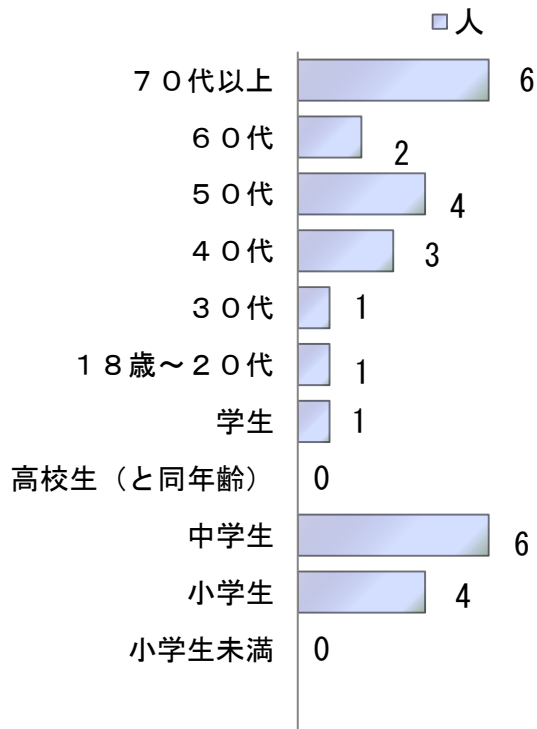
【ゴミの分別を忘れずに】

鳥取西中学校2年 佐藤 智也

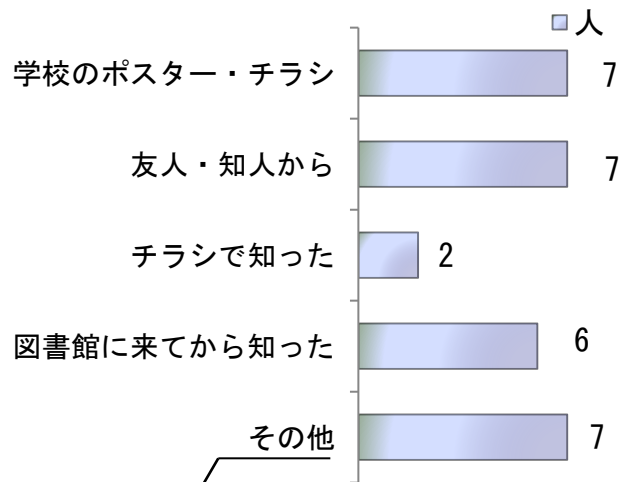
くしろエコ・フェア 2023 来場者アンケート集計結果

(アンケート回収件数：28件)

① 学校・年代など



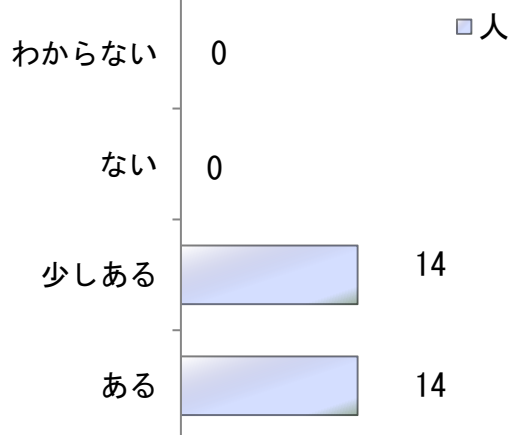
② エコ・フェアを何で知りましたか



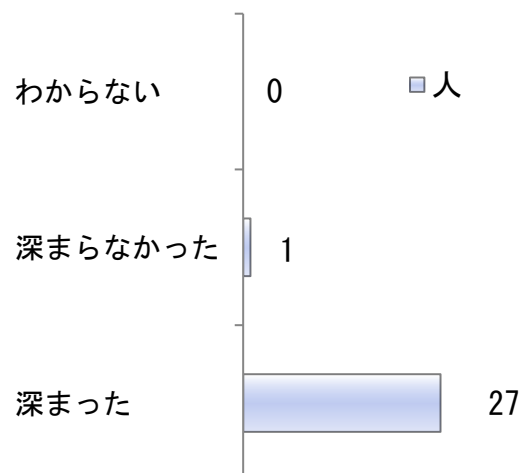
【その他の内訳】

- ・新聞 × 1
- ・図書館のインスタ × 1
- ・親（ママ）が出店しているためいっしょに × 1
- ・親から × 2
- ・SNS × 2

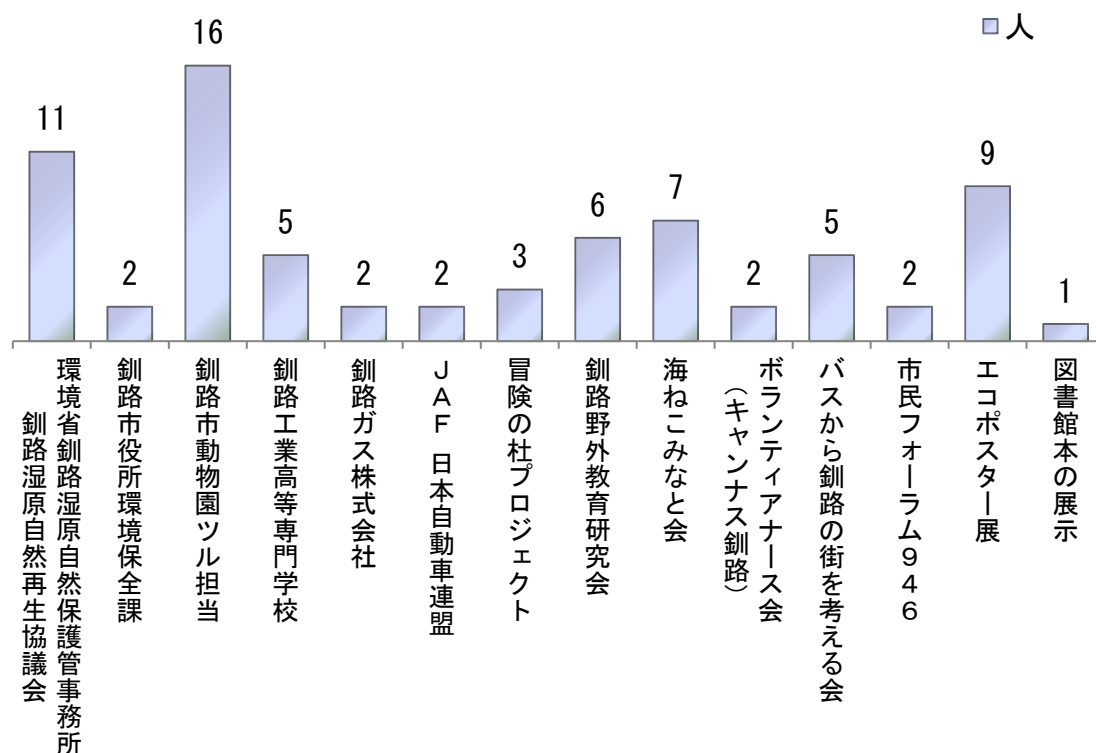
③ 普段は環境問題・エコロジーに関心はありますか



④ エコ・フェアで環境への関心は深まりましたか



⑤ 印象に残った展示はどれですか（複数回答可）



⑥ 感想・ご意見など

～小学生～

- ・ たのしかった。

～中学生～

- ・ 本物があってわかりやすいと思いました。

～学生～

- ・ 様々な写真や体験・クイズなどで釧路の現状に関して学べて良かった。
私達に何か出来ることを探して少しでも貢献出来たらいいなと思った。

～40代～

- ・ 冒険の杜プロジェクトでは先生が分かりやすく楽しく教えてくれました。
- ・ 身近にある物を上手に再利用されていて、発見が多かったです。
- ・ 出来ることから、環境に良い事を意識して取り組みたいと思いました。

～70代以上～

- ・ 「公害」問題などの展示があっても良いのでは？

環境を楽しみながら学ぶ

12団体SDGsの活動紹介

19日「くしろエコ・フェア」

暮らしと環境について考えるきっかけづくりを―と「くしろエコ・フェア2023」SDGsの視点から」が19日午前10時から、釧路市中央図書館7階多目的ホールと展示室で開かれる。当日は12団体がブースを設け、環境分野に関わるSDGs(持続的な開発目標)がテーマの活動を紹介するパネル展示やエコクイズラリーなど、環境を楽しみながら学ぶ場を提供する。

(石川直樹)

同実行委が主催し、釧路市教育委員会が共催。地域に住む一人一人が「暮らしと環境」について考え、体験するイベントとして2007年から始まり、コロナ禍で20、21年は中止した。

当日は、釧路湿原自然再生協議会のパネル展、市役所環境保全課によるゼロカーボンなどの環境保全に関する展示のほか、湿原クラフト作家・辻野正さんのペーパークラフト展とエコクラフト工作の体験コーナーも開設。各ブースを回って

環境のクイズに挑戦するエコクイズラリーでは、参加者全員に景品を贈る。

このほか同実行委の「エコポスターコンクール作品展」では、同コンクール入賞作品を展示する。北海道教育大学名誉教授で同実行

委の田丸典彦委員長は「私個人も地域に自生するギョウジャニンニクの冬芽など実物をお見せします。身近な生活から環境について学ぶ機会、来場して環境への関心を高めるきっかけにしたい」と来場を呼



び掛けている。

イベントは午後3時まで。入場無料。問い合わせは事務局(釧路市民活動センターわつと内) 0154

「一緒に環境について学びましょう」と田丸実行委員長(右)はじめ実行委メンバー

(22) 2023.11.15

「環境活動」 市民が学ぶ

釧路でエコ・フェア

くらしと環境について考えるきっかけづくりを「エコ・フェア2023」SDGsの視点から」が19日、釧路市中央図書館で開かれた。会場には協賛した12団体が環境に関する活動内容を展示し、訪れた市民が身近な環境活動を学ぶ機会となった。

会場では、釧路温帯再生事業地現地見学会のポスター展、市役所や釧路総合振興局のゼロカーボンの取り組み、JAFのエコ運転術の紹介などハネル展示を中心に環境保護をアピール。環境保護団体「海ねこみなと会」は、天然素材で作るたわし作りワークショップを展開し、子供たちの人気を集めていた。

市内から母親と訪れた渡部花音さん（11）は「絹を使ったたわし作りが楽しかった。環境にいい素材なので家で使います」とにっこり。

道教育大学名誉教授で同フェア実行委員長の田丸典彦氏は「釧路野外教育研



家族連れの人気を集めた「海ねこみなと会」のブース

究会の活動やギョウジャニンニクなど地域に自生する植物の実物を展示したが、皆さん興味を持って見られた。若い人が環境を考えるきっかけとして、今後内容も工夫しながら開催していきたい」と話していた。

（石川直樹）

くしろエコ・フェアと中村哲先生

竹内 美妃

「くしろエコ・フェア」は、6月の環境月間に、暮らしと環境に関心のある個人や団体が集い、次世代によりよい環境を伝えることを目標に2007年より企画、開催されてきました。昨年からコロナの影響もあって開催時期を限定せず、国連が環境問題に多くの目標を掲げているSDGsに協賛する取り組みとして開催されることとなり、今年も秋に開催予定です。

の前にまず清潔な水が必要であるとし、アフガニスタンで井戸を掘り、かんがい事業に取り組まれたことでも有名です。地球温暖化の影響で干ばつが進み、十分な水が確保できず、衛生も保てないことから、多くの子供たちが命を落としていく現状を目の当たりにされ、「政治的なことや軍事的なこと以上に、本当の危機は環境である」と述べられています。

実行委員長の田丸典彦先生は、元北海道教育大学釧路校の主事(現キャンパス長)で、大学時代に「指導を頂きまし

中村哲先生の釧路講演会の開催運営に田丸先生とともに携わりました。中村先生は医療活動はもちろんですが、医療

私も看護師として国内外の被災地で医療支援活動が続けていたことから、13年のくしろエコ・フェアで田丸先生に

木まの止のタ

お声かけを頂き、「災害被災者支援を通して命と環境の尊さを考える」をテーマに会場でお話をさせていただきました。国際緊急援助隊医療チーム員として活動したインドネシア・スマトラ沖地震津波での支援活動のことや、東日本大震災後の福島に支援に入っ

約3年かかるといわれ、放射能汚染がいかに自然環境と人々の暮らしに多くの悪影響を与えたか、身をもって実感したのであります。このエコ・フェアが行われるたびに、釧路で中村先生を囲み、皆で語りながらお酒を酌み交わした時間を思い出します。いつか天国で中村先生にお会いできた時には「今は世界中どこにいても、きれいな水が飲めるようになります」と報告できるように、今を生きる私たちはこの地球環境を守っていく努力をし続けなければならないと思っています。

(酪農家、看護師、医学博士
浜中町)

ひろひろくしろ

くしろエコ・フェア2023 ご協賛企業・団体一覧

ありがとうございました



**JAFにはいって
「あんしん」「たのしい」
カーライフ!**



一般社団法人
日本自動車連盟

釧路支部
〒084-0906 釧路市鳥取大通8丁目2-11
TEL.0154-51-2167



信頼と安心の加盟店へ

**釧路地方中古自動車販売協会
釧路地方中古自動車販売事業協同組合**

会長・理事長 高橋 成人
釧路市新野7線147番地4 ☎代57-9111

文部科学大臣指定・厚生労働大臣指定
公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会公認
障がい者スポーツ指導者(初級)資格取得認定校

学校法人 ほっかいどう学院
くしろせんもん学校
Kushiro special school

こども環境科・介護環境科

〒084-0910 釧路市昭和中央2丁目7番3号
TEL: 0154-51-3195 FAX: 0154-53-3746





Recycle for Eco
NATURE TECH

ネイチャーテック釧路 株式会社

代表取締役 東 陽 一
youichi azuma

〒084-0913
釧路市星が浦南6丁目6番13号
TEL 0154-57-7766・FAX 0154-57-7768
携帯 090-8273-4141
Email: natec@biscuit.ocn.ne.jp

(再生紙使用)

まだ知らない私の「好き」がここにある。



全国最大級の
複合店

Coach & Four

コーチャンフォー釧路店
釧路市東浜7丁目1番24号 tel.0154-46-7777
<http://www.coachandfour.ne.jp>

【コーチャンフォーグループ】運動公園通り店 釧路町桂木3丁目





環境コンサルタント株式会社

代表取締役社長

濱口 憲太

【SDGs宣言】
当社は国連が提唱する「持続可能な開発目的(SDGs)」に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

〒085-0016 釧路市錦町5丁目3番地
TEL:0154-31-0311 FAX:0154-40-3754
<http://www.kankyocon.co.jp>
本社事業部/〒088-0606 釧路郡釧路町中央6丁目15番地2



ISO9001
JAB
CM009

リサイクル
循環型社会を応援します!!



株式
会社 **釧路厚生社**

代表取締役会長 中山 勝範
代表取締役社長 福田 雅嘉



〒088-0605

釧路郡釧路町別保原野南21線46番地20

TEL 0154-40-2983 FAX 0154-40-2289

URL <http://www.k-kouseisya.co.jp>

みちかなふれあい
釧路信用金庫

理事長 森村 好幸

〒085-0015 釧路市北大通 8 丁目 2 番地 TEL(0154)23-0111



いつまでも 地域とともに

しんくみ

釧路信用組合

理事長 忠村 浩志

釧路市北大通9丁目2番地 TEL代22-3161

<http://www.kushiro.shinkumi.jp>



株式会社 **釧路製作所**



代表取締役社長 羽 邇 洋
Ushuu Hiroshi



〒085-0003 釧路市川北町 9 番 1 9 号
TEL(0154)22-7135 FAX(0154)22-9680
E-mail: h-usyuu@kushiro-ses.co.jp
URL <http://www.kushiro-ses.co.jp>

地域の皆さまとともに、豊かな未来を創造します。

大地みらい信用金庫

理事長 遠藤 修一

<https://www.daichimirai.co.jp>



土質・地質総合コンサルタント

拓北地下開発株式会社

代表取締役 田中 卓

〒084-0913 釧路市星が浦南 1 丁目 3 番 7 号

TEL(0154)51-4711(代) FAX(0154)55-2200



沢田建設株式会社

〒085-0058 釧路市愛国東1丁目1番16号

電話 (0154) 36-1965番(代表)

FAX (0154) 36-1366番



富士塗研興業 Fujitokenkogyo Co.,Ltd
有限会社

代表取締役 森 圭一郎
MORI KEIICHIRO

〒084-0924

釧路市鶴野58番地1700 TEL:0154-51-0521 FAX:0154-51-1057
E-mail:fujitokenkogyo@purple.plala.or.jp 携帯電話:080-3291-6225

コープさっぽろ 釧路地区本部

① 岩倉建設株式会社

代表取締役社長 鈴木 泰 至

本 社 札幌市中央区南1条西7丁目16番2

Tel (011) 281-6000

釧路営業所 釧路市鳥取南7丁目1番10号

Tel (0154) 51-3673



日本最東端から、“光”を発信。

北海道教育大学釧路校

〒085-8580 釧路市城山1丁目15番55号

<https://www.hokkyodai.ac.jp/kus>

地域に密着した総合教育

学校法人 緑ヶ岡学園

- 釧路短期大学
認定こども園
- 釧路短期大学附属幼稚園
- 武修館高等学校
- 武修館中学校

釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号 Tel. 0154(41)0131(代)
<http://www.midorigaoka.ac.jp>

株式会社 田中組 道東支店
執行役員 支店長 今野 肇

支店 085-0008
釧路市入江町五番十六号
電話 (0154) 217-1777
FAX (0154) 217-1798
E-mail: h-kono@kanakagumi.co.jp
携帯 090-8319-7770 番

未来を待つな、

未来を創ろう

公式マスコット
キャラクター
クシローネ



詳細は釧路高専で検索！！



独立行政法人 国立高等専門学校機構

釧路市大東毛西2丁目32番1号

釧路工業高等専門学校

TEL : 0154-57-8041

FAX : 0154-57-5360

釧路ガスのでんきははじめました！

安心・安全・エコライフ

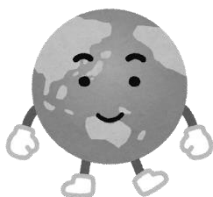
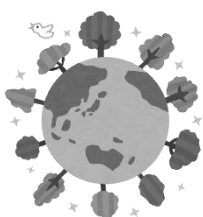


釧路ガス

ECOジョー
がスマート！

Tel 0154-22-8101

住所／釧路市南4丁目1-2
C 釧路ガス 検索



くしろエコ・フェア2023

ご協賛企業様・団体様

拓北地下開発株式会社

学校法人ほっかいどう学院くしろせんもんがっこう

株式会社リライアブル

ネイチャーテック釧路株式会社

学校法人緑ヶ岡学園 釧路短期大学

釧路信用組合

独立行政法人国立高等専門学校機構

釧路工業高等専門学校

沢田建設株式会社

大地みらい信用金庫

釧路地方中古自動車販売事業協同組合

岩倉建設株式会社

国立大学法人 北海道教育大学釧路校後援会

釧路ガス株式会社

釧路信用金庫

富士塗研工業有限会社

株式会社 釧路製作所

株式会社 釧路厚生社

コープさっぽろ 釧路地区本部

一般社団法人 日本自動車連盟釧路支部

環境コンサルタント株式会社

株式会社田中組 道東支店 敬称略・順不同

ご協賛ありがとうございました



くしろエコ・フェア2023 事務局業務の流れ

2023年	4月	12日	くしろエコ・フェア2023事務局会議
	4月	19日	くしろエコ・フェア2023実行委員会
	6月	7日	くしろエコ・フェア2023事務局会議
	6月	27日	教頭会参加（エコ・フェア2023参加協力依頼）
	8月	2日	くしろエコ・フェア2023事務局会議
	8月	30日	協賛協力依頼訪問
	8月	31日	協賛協力依頼訪問
	9月	1日	協賛協力依頼訪問
	9月	4日	協賛協力依頼訪問
	9月	11日	協賛協力依頼訪問
	9月	20日	くしろエコ・フェア2023事務局会議
	10月	2日	エコポスターコンクール選考会
	10月	18日	釧路市中央図書館 会場事前調査
	10月	25日	くしろエコ・フェア2023事務局会議
	10月	31日	くしろエコ・フェア2023事務局会議
	11月	8日	くしろエコ・フェア2023実行委員会・事務局会議
			釧路市中央図書館へ過去年度の報告集寄贈
	11月	18日	前日会場設営
	11月	19日	くしろエコ・フェア2023開催
			○開催場所 釧路市中央図書館 7F多目的ホール・展示室
			○エコポスター募集決定
			○クイズラリー実施決定
	11月	22日	エコポスターの返却とお礼の挨拶回り
	12月	6日	くしろエコ・フェア2023事務局会議・報告集作成作業
2024年	1月	17日	くしろエコ・フェア2023事務局会議・報告集作成作業
	2月	14日	くしろエコ・フェア2023事務局会議
	2月	22日	くしろエコ・フェア2023実行委員会
	2月	末日	くしろエコ・フェア2023報告集完成（予定）

『くしろエコ・フェア』 実行委員会規約

1 名称

この会は『くしろエコ・フェア実行委員会』と称し、事務所を釧路市民活動センターわっと内に置く。

2 目的

この会は環境に関心のある様々な団体・個人が集い、くらしと環境について考える場を共有し、次世代によりよい環境を伝えることを目的とする。

3 構成

この会に代表者1名、副代表2名、事務局長、会計、監事2名を置く。

代表は実行委員会の運営を統括し、副代表は代表を補佐する。

事務局長は運営全般及び実行委員会の活動に関する事務を行う。

会計は実行委員会の活動に伴って発生する会計についての事務を行う。

監事は会計及び業務監査を行う。

4 経費

実行委員会の活動に要する経費は、参加団体・個人が負担する。

5 その他

この規約に定めるものの他、必要事項は、実行委員会に於いて決定する。

<付則>

この規約は2007年3月28日より施行する。

この規約は2011年8月8日より施行する。

この規約は2012年4月7日より施行する。

編集後記

コロナの中断から復活して、そして釧路市中央図書館に会場を移して、二回目となるエコ・フェアでした。幾分の慣れもあって、スムーズに運営できたのではないかと思います。

出展者の皆様、図書館職員の方々のご苦勞に感謝いたします。協賛企業・団体の皆様、公益財団法人北海道青少年育成協会様の基金運用益交付金、イオン釧路昭和店の「イオン幸せの黄色いレシート」(毎月11日)などの協力を得まして開催を成功させることができました。また市内小中学校の皆様、エコポスター展への応募、ありがとうございました。

しかしながら、釧路市藝術祭で空いている日がなくて、エコ・フェア開催が11月までずれ込んでしまいました。「キノコの会」は毎回投票で一位になる人気展示なのですが、11月ではもうキノコがない、と今回の出展が見送られました。また、事務局員としても尽力してくださった清水さんが亡くなったことで「シャケの会」「釧路の魅力を創る会」の出展がなくなってしまいました。大変残念なことでした。

そうした中、去年は「海ねこみなと会」、今年は「ボランティアナースの会『キャンパス釧路』」と「バスから釧路の街を考える会」といった団体の新しい展示を迎えることができました。各団体の高齢化・少人数化、若い人々の社会活動への参加が低迷する中、多くの方々のお声かけが必要と思われます。どうかよろしくお願いします。

くしろエコ・フェア実行委員会 事務局長 鈴木 仁